

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

JMOOC「味と匂いの科学技術」が開講しました!

10月21日まで受講登録受付中です。どうぞご参加ください!

教材開発センターが取り組んだ MOOC 第4弾「味と匂いの科学技術」が9月23日よりスタートしました。この講座では、九州大学味覚・嗅覚センサ研究開発センター長の都甲潔先生が独自に開発された味と味覚を測る科学技術を、幅広い受講者を対象にわかりやすく講義をして下さいます。

さて、今回の MOOC の受講者ですが、登録者は 491 人(9月23日現在)で、項目にご回答いただいた登録者のうち 288 人が男性、

165 人が女性でした。また日本人は 404 人で、特に東京、神奈川、福岡県からの参加者が目立ちました。海外からの登録者は 26 人で、中国や台湾を始め、アメリカやブラジル、ロシアからの申し込みがありました。年齢層も幅広く、10代からの申し込みがあり、着実に、MOOC が教育の機会を拡大している様子がわかります。MOOC は、パソコンだけでなくスマホやタブレットを使ったモバイル・ラーニングも可能です。通学・通勤時間を有効に活用し、MOOC の学びに是非、チャレンジしてみてください。

なお本講座は、10月21日までがテストの解答期限で、受講登録が可能です。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【安西 弥生 准教授】



▲日本語だけでなく英語字幕も装備しています



JMOOC ▶ <http://www.jmooc.jp/>

モバイル・ラーニング

モバイルラーニングはeラーニングの一種で、携帯電話、スマートフォン、タブレットなどのモバイル機器を活用し、いつでもどこでも知識習得が可能なユビキタスな学習スタイルのことです。



代表的研究者紹介ビデオを撮影します

本学を代表する研究者の紹介ビデオの制作を、教材開発センターが担当することになりました。このビデオは、九州大学で行われている最先端のユニークな研究をより幅広い皆様に知って頂くためのものです。完成したビデオは、九大ホームページ、youtube、iTunesUなどで公開される他、嚶鳴天空広場、新中央図書館ラーニングコモンズに設置のモニターなどでも見られるようになる予定です。



▲辻 健 准教授 (iPCNER) と伊都スタジオで打ち合わせの様子

まずは、各部局から推薦された約 30 人の先生方について制作を行っていきます。現在、動画の構成や素材を制作しているところですが、10月以降、伊都図書館内スタジオや先生の研究室で、実際に撮影を進めるよう計画しています。

九大の研究と先生方の魅力を映像の力で精一杯引き出せるよう、動画班一同、鋭意制作を進めていきます。

九大公式 Youtube チャンネル ▶ <https://www.youtube.com/user/KyushuUniv> 【谷澤 亜里 助教】

2D/3D教材開発システム貸し出しについて

教材開発センターでは、2D/3D教材開発システムを導入しております。先生方の講義資料や研究資料の作成等にお使い下さい。システム構成と作成できるデータ等の情報は以下の通りです。



- 1) デジタル顕微鏡
高解像度画像ファイル
(20 ~ 200 倍、4800(H)×3600(V)画素、RGB 各 16 階調)



- 2) 光学式モーションキャプチャー装置
モーションデータ (bvh 等)



- 3) 3D スキャナー
3次元点群データ (STL, rgv, rvm) と 3次元形状データ (ply, obj, dxf 等)



- 4) 3D プリンター
樹脂模型 (297×210×200(mm))



- 5) ハイスピードカメラ
連続画像ファイル (500 ~ 100,000fps、1696×1710 画素)



- 6) 視線追尾装置
視線追尾動画画像ファイル (AVI, BMP) と 視線座標データ (CSV ファイル)



ご利用をご希望の先生は、ICER ウェブサイトに利用申込みページがございますのでご活用下さい。スタッフが機材を持参して先生方の研究室へお伺いし、データ作成を行う場合と、資料等をお預かりして教材開発センターでデータ作成を行う場合のいずれかで対応させていただきます。なお、申込み状況から利用期間等を調整させていただく場合がございますので予めご了承下さい。

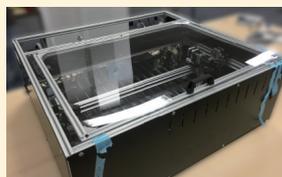
詳細はこちら ▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/2d_3d 利用申込みフォーム ▶ http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

【岡田 義広 教授 (教材開発センター長)】

次世代の教材開発を支える技術 ～レーザー加工機～

今回紹介させていただく次世代の教材開発を支える技術は「レーザー加工機」です。

この装置は、レーザーを使って、木材やアクリル板等の平たいものに模様を掘ったり、切ったりすることができる装置です。教材開発センターが所有しているレーザー加工機は、炭酸ガスレーザーを用いて材質を加工するタイプです。レーザー加工機は、コンピューターで入力した内容どおりに加工ができるので、手作業では難しい複雑な模様なども掘ったり切ったりすることが可能です。そのため、実際に手でさわられるようなアナログな教材などを作成する際には非常に役立ちます。



さて、これまで2年間にわたって連載してきた「次世代の教材開発を支える技術」ですが今回は最終回となります。これまで連載記事を読んでいただきありがとうございました。またいつかどこかで、教材開発を支える技術のご紹介が出来たらと思います。

【金子 晃介 准教授 (協力教員)】

最終講義を撮影しませんか？

後学期が始まり、今年度も折り返し地点となりました。そろそろ、年度末の予定も見えてくる頃でしょうか。教材開発センターでは毎年、最終講義の撮影・公開を行っています。最終講義は、通常の授業とは異なり、一回の講義に先生のこれまでの研究が濃縮された内容になります。そのため、最終講義の動画は九州大学でどのような研究が行われているのかを広く知って頂くための、貴重なコンテンツとなります。ご退官される先生にとっても、九州大学での研究・教育活動の集大成の記録としてご活用いただければ幸いです。

本年度ご退官の先生方、あるいは、お近くにご退官の先生がいいらっしゃる皆様、最終講義の撮影・公開にご関心がございましたら、是非教材開発センターまでご相談ください。

過去の最終講義動画はこちら

2015年度 ▶ https://youtu.be/g-uv3Y_B7-w?list=PLVhByfY_xuBlusDcP1VTxXUGaRB5RDjc0

2014年度 ▶ https://www.youtube.com/playlist?list=PLVhByfY_xuBJLY5IhFvjfFgMxca_d10a



【谷澤 亜里 助教】



M2B 学習支援システム講習会を開催しました

9/5、9/8にM2B(みつば)学習システム講習会を開催しました。今回の講習会では、実際の授業でよく利用する機能に沿った実践演習を中心に行い、「小テスト」の作成やテスト結果の確認、「課題」の作成や提出された課題の確認方法などを参加者の方々と確認することが出来ました。今回の講習会資料は、以下より迎えることができます。今回の講習会にご参加いただけなかった方にも、資料を見ていただきながら実践できる内容となっていますので、ご興味ございましたら是非ご利用ください。

講習会資料はこちら ▶ <https://moodle.artsci.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=2699>

Moodleコース名: 教職員用コース > M2Bシステムのテストコースの利用 > M2Bシステム_ガイドコース



【緒方 広明 教授 (協力教員)】